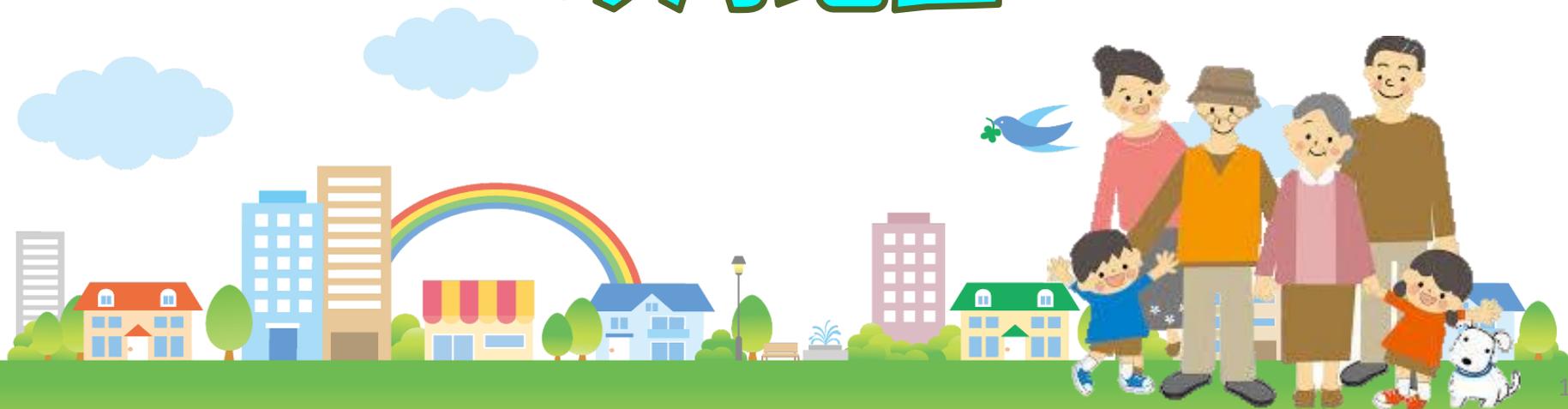


どうする？

どうなる？

第3回

公共施設の将来のあい方 を考える市民対話 ＜琴海地区＞



◆対話の進めかた

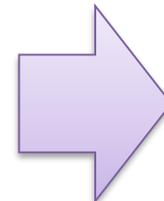
第1回
8月17日(土)

- 施設の現状や
見直しの必要性
について知る



第2回
9月28日(土)

- 第1回対話も踏ま
えた市の考え方の
説明及び意見交換
- 対話のまとめ



第3回
12月14日(土)

- 第2回までの対話
を踏まえて市が
検討した結果に
対する意見交換
- 対話のまとめ



地区に住んでいるからこそ
知っている課題や実態
などの意見



長崎市

地区別計画の策定

本日の流れ

- ◆ 公共施設のあり方・見直しの基本的考え方、
いただいたご意見等に対するお答え(15分)
- ◆ グループでの話し合い、及び意見のとりまとめ(45分)
- ◆ 発表(35分)
- ◆ まとめ

人口減少

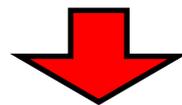


公共施設の
利用者の減少

なのに

公共施設の
量の増大

少子高齢化

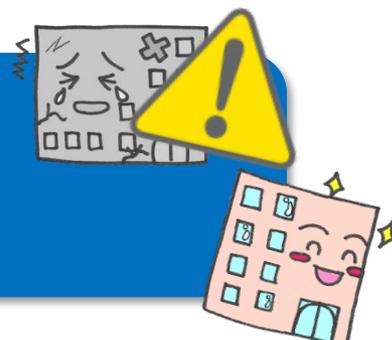
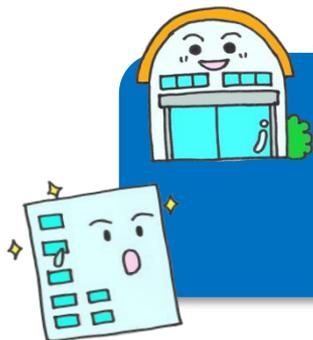


医療・介護など福祉
にあてる予算の増大

なのに

古くなった公共施設の
修理に費用がかかる

どうしたらいいのだろう？

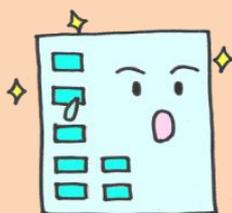
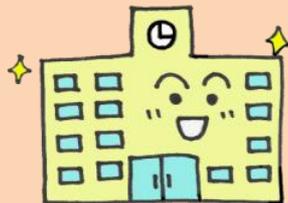


施設はそのまま維持できるの？

平成27年度から **今後30年間** の
「**建て替え**」や「**改修**」にかかる費用
不足額は… **879億円**



このままでは
**今の施設すべての建替え・修理
はできません**



琴海地区の 公共施設の 配置の考え方



〔長崎市理財部資産経営室からのお知らせです。〕

公共施設の将来のあり方を考える市民対話〈琴海地区〉

☆第2回 開催報告☆

ご参加いただいた皆さま
ありがとうございました。

日時 令和元年9月28日(土) 15:00~17:00

会場 琴海文化センター

参加者 地域の皆さん 17人



1 第2回までに話し合ってきた内容

- ①長崎市の公共施設の現状（利用状況や老朽化の状況など）や見直し必要性についてご説明しました。
- ②琴海地区の将来を考えると、地区内にある施設の課題や課題策等について話し合いました。



- ①公共施設の種類ごとに市全体の公共施設の配置の考え方と、市が考える琴海地区にある施設の将来の配置の考え方をご説明しました。
- ②施設の配置の考え方に対して、グループごとに課題やアイデアを出し合いました。

第2回 (9/28)

2 公共施設の配置の考え方

農林業振興施設

市民農園は市内に4か所あり、利用する市民が、自然環境の中で健康的に利用しつつ、農業への理解を深めることができるため、現在の配置を維持することとしています。
琴海赤水ふれあい農園 琴海赤水ふれあい農園については、併設する農村公園である赤水公園の施設の一部として、従来どおりの管理を継続していきます。

市営住宅

今後、人口・世帯数が減少し、民間の空き家も増加するため、市営住宅の需要は減少すると予想されます。そのため、セーフティネットとしての役割を担いながら、将来的には市全体の住宅政策の取組と連携して考えていきます。

職員住宅

2 公共施設の配置の考え方（つづき）

消防施設

消防体制の見直しを図りながら、効率的な適正配置により、将来にわたり市民が安全安心に暮らせるようサービスの提供を行ってまいります。

学校

学校の適正配置については、教育委員会が地域と協議させていただきます。

診療所

診療所は、離島やへき地などの民間の医療が不足している地域へ配置します。

放課後児童クラブ

放課後児童クラブは、子どもたちの放課後等における安全・安心な居場所の確保を図るため、小学校区ごとに配置されています。

なごき暮らし体験施設

なごきでの暮らしを体験し、定住へ繋げていくための施設です。移住定住促進策については、空き家・空き地バンクの充実をはじめ、民間による体験施設の確保を図るとともに地域住民との連携による受け入れ態勢の充実や移住希望者のマッチングを図るなど市が所管する体験施設については、ソフト事業への転換を行った後廃止し、廃止後の施設については、売却等による有効活用を図ります。

その他事務所

その他事務所は、施設の特殊性や、サービスの機動性確保のため、本庁会から分散して施設を配置していますが、より効率的な行政運営を図るために必要な施設配置へ見直します。

3 グループでの話し合い

市民対話では、長崎市で考えた琴海地区の公共施設の配置の考え方について話し合ってもらい、課題やアイデア等のとりまとめを行っていただきました。

市民対話では、長崎市で考えた琴海地区の公共施設の配置の考え方について話し合ってもらい、課題やアイデア等のとりまとめを行っていただきました。

市民対話では、長崎市で考えた琴海地区の公共施設の配置の考え方について話し合ってもらい、課題やアイデア等のとりまとめを行っていただきました。

2 公共施設の配置の考え方（つづき）

公園

公園には、「防災や避難等災害に対応できる機能の確保」、「複合遊具等を活用した魅力的な子ども遊び場の創出」、「スポーツ施設等での利用」、「健康づくりのための機能の導入」など、多様なニーズへの対応が求められています。

公園

市内における都市公園の市民1人当たりの標準面積は10平方メートル以上、市街地の市民1人当たりの標準面積は5平方メートル以上とし、都市公園の種類や目的及び誘致距離を勘案し、配置の均衡を図ります。

スポーツ施設

スポーツ施設は、生涯にわたってスポーツに関わることで、健康で豊かな生活を送ることができ、また、競技力の向上を図ることで、地元選手が活躍できるよう、その活動の場として、重要な役割を担っています。

公園

地域の皆さんの身近なところには、気軽にスポーツに関心し始めることができる場として、公園機能の一つとして配置されているグラウンドを継続して配置する考えです。

公園

市内の中央、東部、南部、北部の4つの地域内において、各地区での交通の便が良い場所などは、生涯スポーツの推進や競技力の向上のために、スポーツ専用施設として、体育館や庭球場を配置する考えです。

公園

琴海西部体育館は、北部地域における体育施設として、現在の施設を引き続き適正に管理していきます。

公園

庭球場は公園機能の一つとして市内全域で分散して配置していますが、人口が集中する中央地域と交通の便が良い周辺地区の利用率が高いことから、集約して配置し方が、市民の利用が図られると考えられます。

公園

このことから琴海中部運動公園庭球場は、今後の利用状況等の推移を見ながら廃止について検討します。

公園

都心部及び都心周辺部には、九州大会や県大会などの大規模な大会に利用するためのスポーツ専用施設を配置します。

公園

エリアが広環境面に出目録ができ、地

公園

長崎事務所が地区に移動しどうか

公園

消防事務所は使っていない部屋も多く、第50年が経とうとしている。スマートフォンを統括しては、南部地区の利便性を高めるためには、地区にある公共施設等を複合ビルを建てるとして集約し、駐車場を確保することを考えてはどうかだが、使っていない施設を空き家としておくよりは、更地にしたい方が売れる可能性がある。

公園

活性化センターにある会議室、ホール、調理室の機能は、琴海文化センターに全部譲っているの、集約してもいいのでは。北部研修センターにある体育館機能については、廃庁の方等にも需要があるようなので捨てないものか。南部しらすぎ舎は、近海場としての機能を含め、南部文化センターに集約できるとはどうか。

公園

【批評】(アドバイザー・首都大学東京 都市環境学 浦嶋 先生)

●利用者の捉え方のお話が出ていました。利用が少ない場合でもその量が大事で、数字の身身を分解してどう判断するの、難しい問題ですがもっと丁寧に議論することが大切だと思います。

●また、公共施設の廃止や統合を考える時、どうしても施設単位で議論が進み、機能のことを忘れがちになります。機能ごとに、あるいは棟ごとに分解して、考えてみることも大切ですね。

●施設の集約や、廃止、機能の向上等を行うするには、考える標準・判断する基準が大変です。このことは、今日の皆さんも大変でも思っています。次回以降でも、この点を忘れてないで参加していただきたいと思います。

第3回 日時：令和元年12月14日(土) 15:00~17:00 場所：琴海文化センター 多目的ホール

お問い合わせ：長崎市理財部資産経営室 ☎直通：095-829-1412

コミュニティ活動施設



地域の皆さんが身近にふれあい、さまざまな活動を行っていく場所として、気軽に立ち寄ることができる地域コミュニティ活動施設はこれらも必要です。今後は、ふれあいセンターや地区公民館などに加え、特定年齢層を利用対象とした老人憩の家や児童館・児童センターなどの施設も、将来的に、多世代が利用できる施設へ利用方法や機能を見直し、身近な場所として、地域の子どもから高齢者まで多世代が活動する場を維持していきます。

コミュニティ活動施設

●地域の皆さんが最も身近な場所として、地域の話し合いなど、さまざまな地域活動に利用する地域コミュニティの活動拠点は、概ね小学校区の範囲への配置を考えています。

コミュニティ活動施設

●多数の参加が見込まれる活動や行事などため、小学校区の施設より広いスペースや調理室などの特別な設備が必要な施設については、小学校区に配置する施設を兼ねる形で、概ね小学校区への配置を考慮しています。

コミュニティ活動施設

●中学校区を超えた大規模な催しや講座等に対応できる広いスペースや、ホールなど特定の設備が必要な広域的に利用できる施設は、長崎市の都市計画上の地域拠点または交通の便の良い場所への配置を考えています。

コミュニティ活動施設

●市域全体から利用される施設は、交通の便の良い都心部及び都心周辺部に配置する考えです。

コミュニティ活動施設

●長崎小学校区には、琴海さざなみ会館と琴海北部研修センターがあります。施設の利用状況、利便性などを踏まえて、将来的には集約を検討する必要があると考えています。

コミュニティ活動施設

●長崎小学校区には、琴海文化センターと琴海活性化センターがあります。施設の利用状況、利便性などを踏まえて、将来的には集約を検討する必要があります。一方、琴海文化センターは、規模が大きく、設備が充実していることから、中学校区、又は広域的利用施設としても、位置付けを行うことができると考え、廃止は検討していません。

コミュニティ活動施設

●琴海西部文化センター、琴海西部しらす会館、琴海児童館は、規模が大きく、設備が充実していることから、中学校区、又は広域的利用施設としても、位置付けを行うことができると考え、廃止は検討していません。

コミュニティ活動施設

●一方、琴海児童館は、第19歳未満の児童を対象とした施設です。現在、子どもの放課後の居場所として、放課後児童クラブ、放課後子ども教室などがあり、今後はこれらのサービスの充実を図ることとしていることから、将来的には、児童館の役割についても見直しが必要があると考えています。



かわら版

コミュニティ活動施設に係る主なご意見

琴海北部研修センター

使い方
について

- ・建つ位置を考えると、尾戸からも利用がされているのではないかと
- ・体育館機能については、需要があるようなので残せないものか。

琴海南部しらさぎ会館

施設
について

- ・武道場としての機能を含め、琴海南部文化センターに集約できるのでは。

コミュニティ活動施設に係る主なご意見

琴海活性化センター

施設
について

- ・琴海北部研修センターの厨房（調理室）を、設備が新しい活性化センターにまとめ、利用者が不便にならないよう、バス・タクシーの借上げにより交通の確保をしては。
- ・会議室、ホール、調理室の機能は、琴海文化センターに全部揃っているので、集約してもいいのでは。

コミュニティ活動施設

市民に最も身近な場所でサービスを提供する施設は、概ね小学校区に配置

広いスペースや特定の設備が必要な施設は、概ね中学校区に配置

広域的利用施設は、長崎市の都市計画上の地域拠点または交通の便のよい場所に配置



琴海文化
センター



三重地区
市民センター

市域全体から利用される施設は、交通の便のよい都心部及び都心周辺部に配置

コミュニティ活動施設について

お答え

- 各施設のあり方や、各種機能の集約の時期等については、利用者の利便性等を勘案し、地域の方々の意見を伺いながら検討していきたいと考えています。

施設を見直すこと

~~行政サービスをなくすこと~~



配置の考え方について

【ご意見】

- ・公共施設の配置は校区で考えるべきものなのか。

お答え

- ・身近な場所や日常的に行動する範囲の中で受けられるサービスについては、基本的には学校区で考えていくこととしておりますが、市民対話でお伺いした地域固有の事情を踏まえ、地区別計画策定の際に参考にさせていただきます。

琴海地域センター・長浦事務所

【前回各班から出された主なご意見】

使い方
について

- ・使い方を考えた方がいのではないか。郷土資料館として使うことも検討されていいのでは。

施設
について

- ・使っていない部屋も多く、建物も古くなってきている。行政事務所としては、スモール化を検討してもよい。

琴海地域センター・長浦事務所

お答え

- ・現在の職員体制に対する施設規模は大きすぎる状況です。
- ・建物が耐用年数（概ね65年）を迎えるまでは、未利用スペースの有効活用を検討する必要があると考えています。

地域おこし協力隊住宅

【前回各班から出された主なご意見】

施設
について

- ・ここ数年使われていない。空き家を残しておくよりは、更地にした方が売れる可能性があるのでは。

地域おこし協力隊住宅

お答え

- ・施設は、昨年10月まで協力隊員が使用していましたが、現在は次期隊員の募集を行っています。
- ・施設については老朽化しており、今後職員住宅としての必要性もなくなることから、用途廃止を行い、利活用の検討を行いたいと考えています。

旧尾戸小学校

ご報告

- ・学校跡地等の大規模資産の市場性や利活用の可能性について、民間事業者から意見を求めるため、「サウンディング型市場調査（8月～10月）」を実施いたしました。
- ・多数の問い合わせをいただきましたが、応募を頂くまでには至りませんでした。
- ・原則として、防犯上の観点から建物を解体し、更地にしたうえで売却に向けての手続きを進めていきます。

●これからの流れ●

第1回
8月17日(土)

- 施設の現状や見直しの必要性について知る



第2回
9月28日(土)

- 市が考える施設の配置の考え方に対して、意見や提案を行う



第3回
12月14日(土)

- 第2回までの対話を踏まえて市が検討した結果に対する意見交換
- 対話のまとめ

取りまとめ

地区に住んでいるからこそ知っている課題や実態などの意見



長崎市

地区別計画の策定

(お伝えする機会を
作りたいと考えています)